

8種類の野鳥を観察して..!

● 10名の会員で野鳥観察！

昨日は、午後2時半から約1時間にわたり、「春日部麗しの杜」周辺の古利根川にて、春日部地区浦高会会で野鳥観察会を行いました。埼玉県生態系保護協会春日部支部の三好あき子さん達3人の方々にご案内をお願いし、10人の会員で楽しみました。



午後2時30分、私たちが「春日部麗しの杜」とネーミングしている川久保公園エントランスに集合【写真①】。

私は自宅の武里から懇親会会場の春日部駅周辺のレストランに約40分歩いて行き、そこから約25分掛けて川久保公園へ歩いたため、集合の5分前になってしまい、皆様を不安がらせて仕舞ったようです。

最初に、三好さんからご挨拶。

「皆さん、こんにちは。これから川久保公園周辺の野鳥を観察していただくのですが、公園内の葦原が刈られてしまい、小鳥たちがエサを啄んだり、身を隠す場所がないことや、カモたちが近くにいないので観察が難しいかもしれませんが、約1時間に多くの鳥たちを見ていただきたいと思います。」

そしてポケットサイズの「冬の鳥@古利根川」【写真②③④】をいただきました。表紙には、この辺りでも見かけることが



できるカワセミが掲載されていました。そして1枚めくるとカモや水上を飛ぶカモメ、水にもぐれるカイツブ



りなどが紹介され、次のページには、水辺を歩く鳥でセキレイやサギが、シジュウカラなどの小鳥たちも紹介されています。

期待をしつつ川辺へと向かいます【写真⑤】。午前中はかなり強かった風も少しだけ和らぎ、少々寒いものの観察にはいい感



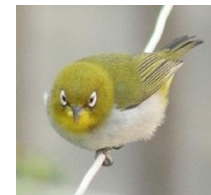
じです。最初に見つけたのは、公園内でカワラバト(ドウバト:堂鳩)【写真⑥:以下ホームページより】ですが、こちらは伝書鳩やレース鳩から野生化している

のですが、人間の勝手に野鳥にカウントされないそうです。続いては、群れをなして落ち穂を啄むムクドリ【写真⑦】です。飛んできて止まる時にステルスのように羽



根を斜めにするのが特長だそうです。川辺に目を向けると、コガモ【写真⑧】が飛び立ったところだそうです。そんな川辺にはハシボソガラス【写真

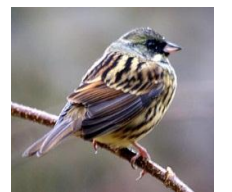
⑨】が二羽、つがいでしょ。カラスも渡る種類があるそうで、岩槻区との境辺りにはミヤマガラスという種類がいるそうです。葦原で盛んに動いている鳥がい



ました。メジロ【写真⑩】です。残念ながら私は見られなかったのですが、皆さんの目の周りの白と美しい緑が可愛い姿をスコープで、次にシジュウカラ【写真⑪】。一生懸命に葦の間にいる虫をエサ



にしていました。対岸近くの浅瀬にはヒドリガモ【写真⑫】が30羽程度首をまるめて寝ているようです。川面の上を大きく飛んで行ったのはセグロカモメ【写真⑬】のようです。そして、公園脇の畑には動きの速いアオジ【写真⑭】が動いています。



約1時間で8種類の野鳥観察となりました。やはりプロのご案内と説明があると楽しいものです。お三方に感謝！